

## 日本神経放射線学会倫理綱領

一般社団法人日本神経放射線学会 The Japanese Society of Neuroradiology は、神経放射線医学およびこれに関連する研究の協同、促進をはかり、以って学術の発展に寄与することを目的としている。神経放射線医学の研究と臨床への還元を推進することによって、広く患者と社会に貢献したいと欲する。日本神経放射線学会員は、その良心に従い、できる限りの努力を怠らず、生涯医学的知識と技術の習得に努め、患者によりよい医療を提供する職責を担う。この倫理綱領は、その職責を果たすための基本的規範である。

### 神経放射線医学に携わるものの心得

1. (患者利益の尊重) 神経放射線医学に携わるものは、医療を受ける人々の人格を尊重し、やさしい心で接するとともに、医療内容について十分に説明し個人の意志決定を尊重して、患者の利益を最も優先する。
2. (医療の適正化) 神経放射線医学に携わるものは、放射線、放射性同位元素、電磁波、造影剤などの利用にあたって、患者および社会に対するこれらの影響を十分に理解し配慮するとともに、不利益となる事態の発生を未然に防ぐよう努める。
3. (医療環境の充実) 神経放射線医学に携わるものは、患者の診断、治療に直接あるいは間接的にかかわる職務であることを自覚し、周辺の医療環境を整備し、医療機器の厳格な管理と適正な利用に努める。

### 日本神経放射線学会員としての心得

4. (チーム医療への貢献) 日本神経放射線学会員は、チーム医療の一員としての自覚をもち、診療に関わるすべての医師および医療従事者と協調、協力し、患者を中心ににおいた医療に貢献する。
5. (生涯学習) 日本神経放射線学会員は、生涯学習の精神を持ち、最新の知識と技術の習得に努める。
6. (社会貢献) 日本神経放射線学会員は、医師および医療従事者への神経放射線医学の指導や教育に協力し、社会に対する神経放射線医学の啓蒙と普及に努める。

7. (国際貢献) 日本神経放射線学会員は、世界の医療の現状に幅広い関心を持ち、世界の医療者と協調し、医療福祉が十分に提供されていない人々や国々に対して、神経放射線医学と医療の発展を援助し、その向上に貢献する。
8. (倫理遵守) 日本神経放射線学会員は、学術研究に当たって科学の進歩をもたらす問題に十分留意し、科学的原則に則り、ヘルシンキ宣言の基本原則や動物実験の指針に従い、人類愛と動物愛護の精神に基づいて、これを推進する。

#### 附則

日本神経放射線学会倫理綱領は、令和5年10月1日から施行する。